

上半期の取組に対する自己評価

平成24年11月30日

公正取引委員会予算監視・効率化チーム

1. 予算執行計画の各取組に対する自己評価

(1) 支出負担行為に関する計画の進捗把握・管理

- 支出負担行為に関する計画の対象経費のうち、職員旅費及び庁費はいずれも遂行率が7割強であり、おおむね順調に計画が遂行されている。経済実態等調査費は遂行率が約6割であったが、これは、一部の業務について、計画に対する執行の遅れがみられたことが原因であった。

(2) 予算執行上の重要な決定についての事前審査

- 上半期において予定が明らかであった重要な調達9件（事後報告1件を含む。）全てを審査し、問題はないものと判断された。

(3) 行政事業レビュー

- 行政事業レビューシートの中間公表を行い、レビューシートについて、国民の意見を募集したが、意見の提出はなかった。
- 行政事業レビューで対象となる6事業について検証作業を実施し、全て「現状通り」とすることとしたが、1事業については、所見を踏まえて経費を縮減し、これを平成25年度予算概算要求に反映させた。

(4) 予算執行に関する国民の声の受付

- ホームページ上に、「予算執行・事業に関する御意見箱」を設け、ホームページのトップページにて周知を行ったが、国民からの意見の提出はなかった。

(5) 予算執行の効率化等に向けた職員の参画、意識向上

- 職員の声を集めるための専用メールアドレスを設け、定期的に周知するとともに、職員研修のカリキュラムに「予算執行の効率化」を盛り込み、職員の意識向上に努めた。加えて、予算執行に関わる担当者に対して、各課室に対する月次の支出負担行為実績等を周知し、効率的な予算執行を促したほか、コピー単価（白黒・カラー）をコピー機に掲示して、職員のコスト意識の向上を図った。

(6) 予算執行に関する情報開示の充実

平成24年9月5日に第1四半期分（4～6月）の情報について公表した。

平成24年12月初旬頃に第2四半期分（7～9月）の情報について公表予定。

2. 予算監視・効率化の取組全体に対する自己評価

支出負担行為に関する計画については、おおむね順調に遂行された。

行政事業レビューについては、対象となる6事業について、検証作業を実施し、全て「現状通り」とした。